

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:平成 31 年 2月 8日

事業所名 そだち支援センター スケッチ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	*活動内容や利用児童の個性によって、定員とスペースが適切かどうか変わります。職員の配置や、限られたスペースの使い方や、支援のタイミングなどを職員間で共有し安全面を最優先にしています。	*建物全体的に、細かく部屋を間仕切りしているため、死角が多い。子ども達けががないように見守りながらも安全に思いきり遊べるように環境整備に留意します。
	2	職員の配置数は適切である	2	1		*活動内容や利用者の状態によっては、配置基準通りの職員数では対応が難しいことがあります。今後は支援の内容によって、4人の職員体制での支援も検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	*長期休暇の後など活動内容についてのアンケートを実施し、ご意見やご要望などお聞きしています。外出プログラムではご希望があった工場見学も行いました。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	*職員4人それぞれの得意分野や興味を生かし、児童が楽しんで且つ苦手でも取り組みやすい活動内容にできるよう毎月の内部研修で意見を出し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	2	*放課後等デイサービス計画には、随時という形での記載になっていますが、当日の状況や変化に応じて個々の活動を工夫している途中過程です。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		*通常のサービスや行事等で、支援が難しい状況やリスクがありそうな場面などについて、気づいたことや反省点を出し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	*同法人の保育園卒園児の情報は、卒園前から共有したり支援の留意点を確認するよう努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3		*現在のところ、該当する児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	2		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	*保護者会という形はありませんが、親子で参加できる餅つきや卒業式時の休日のバイキングランチや茶話会など保護者同士が集う機会を増やしています。今後もご希望やご意見を参考にしながら、保護者が気兼ねなくコミュニケーションをとれる場を提供したいと考えています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		
	35	個人情報に十分注意している	4	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	2		*身体拘束の事例はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0	*同敷地内保育園栄養士による給食提供と小麦アレルギーなどの児童への対応食を行っています。その際、保護者と食材・調味料についてなど数回確認を行います。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		